

新産業廃棄物最終処分場整備調査特別委員会 会議結果

1 開催日 令和3年4月30日（金）

2 出席者 21名

(1) 特別委員会委員 8名

(2) 説明員

ア 茨城県 4名

県民生活環境部長、県民生活環境部次長、資源循環推進課長、
新最終処分場整備室長

イ 一般財団法人 茨城県環境保全事業団 1名

副所長兼施設課長

ウ 日立市 4名 生活環境部長 ほか

(3) 議会事務局 4名

3 会議概要

茨城県から説明を受け、質疑を行った。なお、説明の内容及び委員と県の主なやり取りは、次のとおりです。

(1) フォローアップ説明会の実施結果について

中丸団地及び周辺住民を対象とした説明会（計6回実施、参加者83名）において、参加者から出された新設道路等に関する意見の内容について説明があった。

また、各種団体（日立市勤労者協議会・日立商工会議所）に対し、それぞれ説明を行った旨の報告があった。

(2) 新産業廃棄物最終処分場整備に関するチラシについて

新処分場整備の必要性や安全性のほか、住民意見を踏まえた新設搬入道路の整備、交通安全対策、地域振興策などの県の対応策をまとめたチラシを全学区の交流センターへ配架し、施設整備について理解を深めたいとの説明があった。

(3) 新産業廃棄物最終処分場施設配置イメージ図について

現時点における施設配置イメージ図が初めて示された。今後、施設整備の基本計画の策定において、専門家の意見も踏まえた上で施設の配置や構造等を検討していく旨の説明があった。

■ 委員と県の主なやり取り

ア 委員：中丸団地の住民から出された「新たな搬入ルートを検討経過を具体的に示してほしい」との要望に対して、どのように対応するのか。

回答(県)：新たな搬入ルートの選定理由及び経過については、住民の方々に理解していただけるよう丁寧に説明したいと考えている。具体的な説明方法については、役員の方々に相談し、早急に決めていきたい。

イ 委員：浸出水と雨水の処理の流れがチラシに掲載されているが、埋立地以外に降った雨水が埋立地の中に入らないようにする対策について、もう少し丁寧に記載したほうが分かりやすいのではないか。

回答(県)：今後、具体的な計画策定を進める中で改めて説明する機会があると考えている。また、県のホームページでも対応していきたい。

ウ 委 員 : チラシを交流センターへ配架して周知するとのことだが、現在、コロナ禍で交流センターの利用者が減っており、多くの方々に見ていただけないのではと懸念している。県の広報誌「ひばり」に折り込んで配布してはどうか。

回答(県): 検討させていただきたい。

エ 委 員 : 新処分場の施設配置イメージ図については、どのように市民へ周知するのか。

回答(県): 県のホームページへの掲載を考えている。また、交流センターにも配架できるよう調整したい。

(4) 請願等について

継続審査中の3件の請願等については、中丸団地及び周辺住民に対するフォローアップ説明会での住民からの意見等に対応するため、再度、説明する機会を設ける旨の考えが示されたことから、県の対応状況を注視しながら、次回の委員会で改めて審査することとした。

以 上